

ゆずりは

国立市立国立第二中学校
生活指導だより
令和2（2020）年5月
第1号

ユズリハ科ユズリハ属の常緑高木で、春に枝先に若葉が出たあと、前年の葉がそれに譲るように落葉することから、この名前がついたそうです。その様子を親が子を育てて家が代々続いていく人のつながりになぞらえて、国立二中の生活指導だよりのタイトルとしています。



我慢から辛抱へと

始業式と入学式が行われた日から1ヶ月が経ちました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため緊急事態宣言が発令され、国立二中での教育活動が停止しています。仲間に会うことができない、授業を受けることができない、部活動をするのができないなど、できないことが多くあり、誰もがモヤモヤした気持ちでいることでしょう。5月以降も緊急事態宣言が延長され、学校の休業が続くこととなります。どうしてもマイナスな面が気になり目立ってしまいますが、こんな時こそプラスな面に目を向けていきたいと思います。

様々な情報が飛び交う中、「我慢と辛抱」という話題を耳にしました。ともに「たえること」ですが、調べてみると違いが見えてきました。

我慢は嫌なことをただたえること。辛抱は好きなことのためにたえること。

我慢には不満やわがままがある。辛抱には希望や思いやりがある。

我慢は気持ちが人に向かっていく。辛抱は気持ちを人と共有されていく。

我慢はいずれ爆発してしまう。辛抱はいずれ実っていく。

だから、我慢はネガティブ。辛抱はポジティブ。

自粛をしなくてはならない中、「たえること」が続いています。その状況をどのような言葉を使って表現するか、捉えるかによって、気持ちのもちようが変わってきます。我慢から辛抱へと言い方を変えて、今の事態が落ち着いたときにはいいことが始まると前向きに思うようにしていきましょう。ただし、無理をしなさいと言うことではありません。苦しいときは必ず周りの人にその気持ちを伝えてください。“辛い”という言葉には、ひとつ（一）加えると“幸せ”になるとよく言われます。学校で生活を送ることのできない間に何かひとつ成長することで、学校再開後は幸せにあふれる学校になっていたらいいですね。

保護者の皆様におかれましては、このような社会情勢の中で多くの御苦勞があり、心身ともにお疲れのことと思います。一日でも早く学校生活が再開され、保護者の皆様の御負担が軽減されるように教職員も準備を進めて参ります。御不明なことなどがありましたら、御連絡ください。

生活指導だより「ゆずりは」を通して、生徒の様子や傾向、学校から御家庭へのお願いなど、様々な情報をお伝えしていきます。学校での生活指導のねらいを十分御理解いただくと共に、様々な視点から御意見や御質問をお寄せいただいて、より良い教育活動を進めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

5月の過ごし方について

臨時休業が5月末まで継続される予定です。学校生活が再開された日から“中学校生活をしっかり送る！！”ことができるように準備をしましょう。各学年ごとに意識してほしいことをまとめましたので、参考にしてください。

3年生

計画を立てて、この1ヶ月にすることをはっきりさせて実行していきましょう。授業時数を確保するために夏期休業が短くなることが予想されます。そのため、今までの先輩達が行ってきた受験に向けての取り組みと同じようなことができなくなります。夏期休業中に行っていた1・2年生の復習を今から始めるなど、具体的な取り組みを考えて実行しなくてはなりません。先輩達が行っていた勉強法などを参考にしながら、自分の意識を変えて取り組みを始めてください。

2年生

中学生として1年間生活を送ってきたことを活かして、視野を広げ、力を蓄えてください。行事や日常生活を通して3年生から学ぶ機会が少なくなります。そして、すぐに二中を引っ張って行く立場になります。また、3年生と同じように自分たちにも大きな変化が起こることを意識しておいてください。何もしないでいることは現状維持ではなく、レベルダウンになってしまいます。学校が再開されたときに順調に生活が送れるように、学習や家事など自宅での取り組みをきちんと行いましょう。

1年生

中学校での生活を送ることができていないので、中学生としての気持ちが続いているか心配しています。ぜひ、新しい制服に袖を通し入学式を迎えたときの前向きな気持ちを忘れないでください。まずは、小学生から中学生になることが必要です。家で家事などきちんと役割を果たすことができますか？小学生の時にはやらずに許されていたり、周りがやってくれていたことを、中学生として取り組んでください。お家の人と相談して、家事を責任をもって行いましょう。また、想像力を広げるためにも、できる限り本を読みましょう。

全学年

6月に学校が再開されると、約3ヶ月間、仲間との関わりがない生活を過ごしたことになります。久しぶりに仲間と会うことでたくさんの関わりが増えてきます。その中で、自分の気持ちがうまく伝わらずに、相手を傷つけてしまうなどのトラブルが予想されます。トラブルを防ぐためにも、家族との会話の中で言葉を大切にしてください。自分が言われて辛い言葉は相手も同じです。気持ちが伝わらないときは焦らずに丁寧に伝えるように心がけましょう。

年間の目標

先の見通しを持つためにも、生活指導の年間の目標をお伝えします。本校では「落ち着いた学校生活を確立することで、生徒の能力を引き出す教育を実現したい」と考えております。そのような学校づくりに向けて、以下の2つを生活指導の年間の目標として重点を置いて指導していきます。大切なことは大人へと成長し社会人としての“型”を身に付けることです。御家庭でもぜひ一緒に取り組んでいただきますようお願いいたします。

① すすんであいさつをしよう 「相手を認め、受け入れ、尊重する行為です」

生徒の皆さんへ

私たちは、多くの人と関わることによって、日々の生活が成り立っています。その始まりであり、基本となるのが「あいさつ」です。素通りされるよりも元気よくあいさつをしあうと、お互い気分も良く笑顔が増えます。自然に自分から声を出してあいさつができていますか？



② 身だしなみを整えよう 「自分を律する行為です」

生徒の皆さんへ

二中の標準服には正しい着方があります。儀式だけではなく日常から服装をきちんと整えて生活しましょう。「腰でズボンをはかない」「スカートを膝の中心にかかる長さではなく」「リボンは垂らさない」「シャツをきちんとズボンにしまう」「靴のかかとを踏みつけない」「ボタンを留める」など、きちんとして清潔感のある、さわやかな雰囲気をつくっていきましょう。また、服装だけでなく身の回りをきれいにしたり、持ち物を整頓することも大切です。



お願い

1. 配布物について

学校だより、学校行事の通知、PTAからのお知らせ、成績の通知、学年だより等は生徒を通して御家庭に届けることになっています。生徒に責任をもって届けるよう学校でも指導していきますが、習慣が付くまでは御家庭でも確認をするなどして、必ず読んでいただきますようお願いいたします。“型”を身に付ける学習として活用してください。

2. 欠席・遅刻等の連絡

体調不良など、当日の場合は電話による連絡をしてください。時間は7:50～8:10にお願いいたします。事前に分かっている場合は、生徒手帳に理由を記入して担任の先生に渡してください。(昨年度より方法が変更になりました。)

3. 下校時刻

一般下校 5時間授業…15:00 6時間授業…16:00

※委員会・部活動等による放課後の活動のある場合は18:30完全下校になります。

用がない生徒は残らない、寄り道をしない等、学校で指導しておりますが、もし下校途中で寄り道やたまっておしゃべりをしている様子を見かけましたら、早く帰宅するようひと声かけてください。よろしくお願いいたします。

臨時休業中の対応などについて

- ・緊急事態宣言が発令されている中、先の見通しが立たず心配なことや不安なことがあると思います。困ったことや分からないことがあったときは、学校まで御相談ください。なお、感染拡大防止のため教職員の自宅勤務が行われています。そのため、対応に時間がかかることがあり御迷惑をおかけしますが、御了承ください。

国立二中 042-572-2187

- ・学校からの連絡は、一斉送信メールと学校ホームページで行います。学校ホームページは随時更新していきます。なお、更新の間隔が開いてしまうことがあります。御了承ください。
- ・国立成育医療研究センターのホームページ(<http://www.ncchd.go.jp/>)に「新型コロナウイルスと子どものストレスについて」という情報があります。今までの日常と違う中での親子の関わり方についてアドバイスが書かれています。御参考にしてみてください。
- ・4月から東京都の条例が制定され、自転車を使用する場合には損害賠償責任保険に加入することが義務化されました。スマートフォンを使用しながら自転車に乗っていて人身事故を起こし、多額の損害賠償を認める判決がなされています。条例は安全な自転車運転を目的としています。御家庭で自転車の乗り方について話し合いをするとともに、保険の加入について御確認ください。